

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 世界の鉱産資源の産出統計において、オーストラリアが全体の産出割合の3割を超え、ブラジルが約2割を占め、これに中国やインドが続く資源があります。この資源が、地殻変動が少なく古い地層が広がる「安定陸塊」で多く産出される理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 数十億年前の海底で、海水中の鉄分が酸素と結合して大規模に堆積した層が、激しい地殻変動を受けずに保存されたため。 | 2. 数億年前の森林地帯が地中に埋まって炭化し、なだらかな山脈が広がる古期造山帯において、地表近くに露出したため。 | 3. プレートの境界付近で火山活動が活発に起こり、マグマに含まれる金属成分が冷えて固まることで形成されたため。 | 4. 広大な砂漠地帯において、急激な乾燥によって地中の水分が蒸発し、残された鉱物成分が結晶化して地表に堆積したため。 |
|--|---|---|--|

問2 オセアニア州に位置するオーストラリアでは、先住民であるアボリジニーの権利を尊重するとともに、ヨーロッパやアジアなど世界各地からの移民を幅広く受け入れています。このように、多様な民族がそれぞれの文化的な背景を維持しながら、互いに認め合って共生する社会のあり方を何と呼びますか。（2018年 三重公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. 多文化社会 | 2. 白豪主義 | 3. アパルトヘイト | 4. 同化政策 |
|----------|---------|------------|---------|

問3 ブラジルから輸入される鉄鉱石などの鉱産資源を利用する日本の鉄鋼業について、その工場の立地と特徴に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 海外から大型船舶で運ばれてくる重い原料を直接荷揚げし、輸送コストを抑えるために臨海部に立地している。 | 2. 製鉄の燃料となる木炭を大量に確保するため、原料の輸入港から離れた内陸の森林地帯に立地している。 | 3. 完成した製品を消費地である農村部へ迅速に届けるため、高速道路のインターチェンジ付近に集中的に立地している。 | 4. 冷却に必要な質の高い真水を確保するため、海外からの原料輸入には頼らず、国内の河川上流付近に立地している。 |
|---|--|--|---|

問4 南アメリカ大陸を南北に貫くアンデス山脈において、標高の高い厳しい環境に対応するために、古くから移動や運搬、毛の利用などを目的として飼育されてきた家畜を答えなさい。（2018年 岐阜公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|---------|-------|--------|
| 1. リヤマ | 2. トナカイ | 3. ヤク | 4. ラクダ |
|--------|---------|-------|--------|

問5 オーストラリアの産業構造の変化と、その背景について述べた説明として最も適切なものはどれですか。（2025年 岐阜公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. かつては輸出の首位であった羊毛に代わり、アジア諸国の工業化に伴う需要増を受けて、鉄鉱石や石炭が最大の輸出品目となった。 | 2. 1960年代から現在に至るまで一貫して石油の輸出が経済を支えており、羊毛や綿花といった農産物の輸出は衰退した。 | 3. もともとは鉄鉱石などの鉱産資源の輸出が中心であったが、現在は広大な土地を利用した天然ゴムの生産が世界一となり、輸出の大部分を占めている。 | 4. イギリスとの経済的な結びつきが強まった結果、2010年代以降は石炭などのエネルギー資源の輸出をやめ、高級な羊毛製品の輸出に特化している。 |
|--|--|---|---|

問6 かつてイギリスの植民地であったオーストラリアやニュージーランドの貿易相手国について述べた文章として、現在の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 地理的に近い日本や中国など、アジア諸国との貿易の割合が大幅に増加している | 2. かつての宗主国であるイギリスとの貿易が、現在も輸出額の過半数を占めている | 3. 北米自由貿易協定の影響を受け、アメリカ合衆国が最大の輸出相手国となっている | 4. ヨーロッパ連合（EU）への加盟を優先し、ヨーロッパ諸国との経済的結びつきを再強化している |
|---|---|--|---|

問7 ブラジルの産業や社会の状況について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。（2015年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 広大な土地を利用した大規模な農業・牧畜が行われており、とうもろこしや肉類が日本への主要な輸出品となっている。 | 2. 西アジア諸国と同様に世界有数の産油国として知られ、日本への輸出品の大半を原油が占めている。 | 3. 南アフリカ共和国と同様に希少金属である白金の産出が盛んであり、日本への輸出において最も高い割合を占める。 | 4. アジアの文化的な影響を強く受けており、国民の約8割がヒンドゥー教を信仰しているため、牛肉の輸出は行われていない。 |
|---|--|---|---|

問8 南アメリカの主要国であるブラジル、日本、アメリカ、中国の4か国の統計を比較したとき、2000年から2010年にかけて携帯電話契約数が約8.5倍という高い伸び率を示し、1人あたりの国民総所得（GNI）が約1万ドルとなっている国として最も適切なものはどれですか。（2018年 岐阜公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|---------|-------|---------|
| 1. 日本 | 2. アメリカ | 3. 中国 | 4. ブラジル |
|-------|---------|-------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 数十億年前の海底で、海水中の鉄分が酸素と結合して大規模に堆積した層が、激しい地殻変動を受けずに保存されたため。	鉄鉱石は、地球上に酸素が増え始めた非常に古い時代に、海水中の鉄分が沈殿して形成されました。そのため、地殻が古く安定している「安定陸塊」に大量に分布しています。統計で上位を占めるオーストラリアやブラジルは、まさにこの安定陸塊が広がる地域であり、大規模な露天掘りが行われています。一方、選択肢にある森林が炭化したものは「石炭」の説明であり、火山活動に関連するものは「銅鉱」などに多く見られる特徴です。
問2	答え 1 多文化社会	オーストラリアは1970年代にそれまでの白人優先の移民制限政策（白豪主義）を撤廃し、異なる文化背景を持つ人々を対等な社会の一員として受け入れる政策に転換しました。先住民であるアボリジニーの伝統文化の保護や、アジアなどからの新しい移民との共生を目指すこの仕組みは、現代のオーストラリアを象徴する社会体制となっています。
問3	答え 1 海外から大型船舶で運ばれてくる重い原料を直接荷揚げし、輸送コストを抑えるために臨海部に立地している。	日本は鉄鉱石や石炭といった重量のある原料のほとんどをブラジルやオーストラリアからの輸入に依存しています。これらを内陸まで運ぶと多大なコストがかかるため、大型の貨物船が直接接岸できる港を備えた「臨海部」に工場を建設することが、生産効率を高める上で最も合理的です。このような立地傾向は、京浜、阪神、中京などの工業地帯に共通して見られます。
問4	答え 1 リヤマ	アンデス山脈の高地では、酸素が薄く寒冷な気候に適応したリヤマやアルパカが家畜として利用されています。これらは急峻な山道での荷物運搬において重要な役割を果たしており、アンデスの人々の生活に欠かせない存在です。
問5	答え 1 かつては輸出の首位であった羊毛に代わり、アジア諸国の工業化に伴う需要増を受けて、鉄鉱石や石炭が最大の輸出品目となった。	オーストラリアは20世紀半ばまでイギリスとの関係が深く、羊毛などの農牧業製品を主に輸出していました。しかし、地理的に近い日本や中国などのアジア諸国が急速な経済発展を遂げると、それらの国の工業生産に不可欠な地下資源の輸出先として、鉄鉱石（北西部で産出）や石炭（東部で産出）の割合が飛躍的に高まりました。
問6	答え 1 地理的に近い日本や中国など、アジア諸国との貿易の割合が大幅に増加している	1950年代のオーストラリアやニュージーランドは、イギリス連邦の一員として宗主国であったイギリスへの輸出が約3割から6割を占めていました。しかし、その後のイギリスのEC（現在のEU）加盟やアジア諸国の経済成長、さらに地理的な近接性を重視する政策への転換に伴い、現在では日本、中国、東南アジア諸国など、アジア地域が最大の貿易相手となっています。
問7	答え 1 広大な土地を利用した大規模な農業・牧畜が行われており、とうもろこしや肉類が日本への主要な輸出品目となっている。	ブラジルは世界的な食料供給基地としての側面を持ち、広大な農地で栽培されとうもろこしや大豆、飼育される牛や鶏の肉類が重要な輸出資源です。日本との貿易においても、鉄鉱石に加えてこれらの農畜産物が主要な品目となっています。宗教についてはキリスト教が主流であり、ヒンドゥー教が主流であるという説明は誤りです。
問8	答え 4 ブラジル	ブラジルは21世紀に入り、豊富な資源や農産物の輸出、製造業の発展を背景に著しい経済成長を遂げました。この経済発展により人々の生活水準が向上し、1人あたりの国民総所得が約1万ドルに達する中で、消費活動が活発化しました。特に通信インフラの面では、広大な国土に電線を引く必要がある固定電話よりも、基地局を設置することで広い範囲をカバーできる携帯電話の方が普及しやすく、短期間で契約数が爆発的に増加したのが特徴です。